



学校だより

10月号 (第183号)
令和4年9月30日発行
横浜市立並木中央小学校

行事をくぐって成長する

校長 齋藤 由美子

出勤時にシーサイドラインを降りると、どこからともなく、金木犀の香り。暑さもおさまり、季節の移り変わりを感じます。いよいよ本格的な秋の到来です。

さて、学校では運動会の練習がスタートしました。低中高学年ごとの演技や競技の練習に、生き生きと取り組んでいます。運動が苦手な子どももいるでしょうが、何事にも挑戦です。また、運動が好きな子どもは、集団の活動の中でもキラリと個性が光ります。子どもたちの代表が中心となって決めたスローガン【仲間とともに 情熱あふれるベストスマイル 中央小カップ2022】にもあるように、仲間と一緒に頑張って励み競い合う姿は、見ている者の感動を呼びます。ましてや、自分たちで取り組み、達成感を味わう子どもたちの心の動きはいかばかりでしょうか。先日、テレビ放送で行われた児童朝会で、2人の応援団長が、全校に向けて熱いメッセージを送りました。この一生懸命な6年生の姿を見て、仲間や下学年の子どもたちは、教室からまっすぐな目で見つめ、心は、ふつふつと沸き立っていたことでしょう。

ここ数年、大きな声を出したり、友達と集まって何かをしたりすることに我慢を強いられることの多い子どもたち。しかし、彼らの成長には、声を出し、友だちと存分に関わることが重要なことは言うまでもありません。そして、全校で揃っての大きな行事をくぐりながら、心と体でぶつかり合い、励まし合い、支え合う姿とその感動を、私たち大人も見逃してはなりません。また、練習を含め、笑ったり泣いたり、時には落ち込んだりすることも、これからの成長には大切な経験なのだとしっかり価値づけ、どうか励まし続けてください。よろしく願いいたします。

最後に、子どもたちにとっての大切な1日となる運動会です。私たち大人も、互いに参観のルールを守り合い、気持ちよく応援できるよう、ご協力をお願いいたします。